

第71回 尾形 優香さん (福島県立医科大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第71回目は、尾形 優香さんにご執筆いただきました。

世界に誇れる調査の一員として

私は、福島県立医科大学にあるエコチル調査福島ユニットセンターで調査研究業務を行っています。皆様は、「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」をご存じでしょうか？2011年よりリクルートが開始され、妊娠期からその子どもが13歳に至るまで追跡調査し、様々な環境要因が子どもの成長・発達に与える影響を調べる大規模出生コホート調査です。全国で約10万人、福島ユニットセンターでは県内の約13,000人の妊婦が参加登録しました。調査参加者である最年長のお子さんは9歳になります。ご承知のとおり、福島県では2011年3月に震災を経験しました。本調査は震災前から開始しておりますが、震災後、調査対象地域以外から参加を望む声もあり、福島県全県下に拡大し、全体の約1割にあたる方に参加いただいています。

私は、心理士として、お子さんの発達検査や育児相談等を行ってきました。また、調査の運営・管理など一つ一つ考え、作り上げていくことにやりがいを感じますし、研究者としても大規模な調査研究に携わることができ、導きだされる結果に期待を持ちます。研究としては、親子の情動調整行動に関心を持っています。

今後、2023年度からは、心理士の方にご協力いただく心理検査も計画されています。様々な関係者の皆様にご理解・ご協力をいただき、また、調査に参加いただいている方に“協力してよかった”と感じていただけるよう、調査の実施、成果の還元に努めていきたいと考えています。

尾形 優香 (Yuka OGATA)

【所属】 福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター

【連絡先】 yuka-o@fmu.ac.jp

【HP】 <http://www.ecochil-fukushima.jp/>

【その他】 HP の学術論文より発表された論文の和文抄録をご確認いただけます。